公開シンポジウム「世界の高大接続の現状と課題」
2022年3月12日（土）

東アジア諸国・地域における大学入学者選抜の改革動向

―高校教育段階の学習・活動成果の活用を中心に―

南部 広孝
（京都大学）

はじめに

- 東アジア諸国・地域では、1990年代半ば以降、大学入学者選抜方法の改革＝多様化、特に多様な指標を用いた選抜の導入が進行

［背景］進学者の増加、高等教育改革（大学の運営自主権の拡大）、激しい受験競争がもたらす弊害の克服…

はじめに

- 共通する傾向の1つは、高校教育での学習・活動の成果を指標として活用する動き

韓国：総合学生生活記録簿の活用

「学校生活記録簿総合選考」（入学査定官制）

台湾：「申請入学」における審査資料の活用

「繁星推薦」（「繁星計画」）における校内相対順位の活用

↓

大学入学者選抜の改革を梃子に、高校教育（後期中等教育）と大学教育の見直し・改善へ

はじめに

- 中国における大学入学者選抜の改革動向と、高校教育（後期中等教育）や大学教育で生じている変化を検討し、中国における高大接続の状況を考察する。

- 内容
  1．後期中等教育と高等教育の接続
  2．大学入学者選抜の改革
  3．後期中等教育の動向
  4．大学教育の動向

１．後期中等教育と高等教育の接続

１．後期中等教育と高等教育の接続
２．大学入学者選抜の改革
３．後期中等教育の動向
４．大学教育の動向

1-1. 後期中等教育と高等教育の類型

- 後期中等教育
  - 普通高級中学
  - 職業高級中学、中等専門学校
  - 成人高級中学、成人中等専門学校
- 高等教育
  - 普通高等教育（本科課程、専科課程）
    高等職業教育の拡大
  - 成人高等教育（同）
  - オンライン教育（Web-based Undergraduates）（同）

1-2. 後期中等教育と高等教育の規模

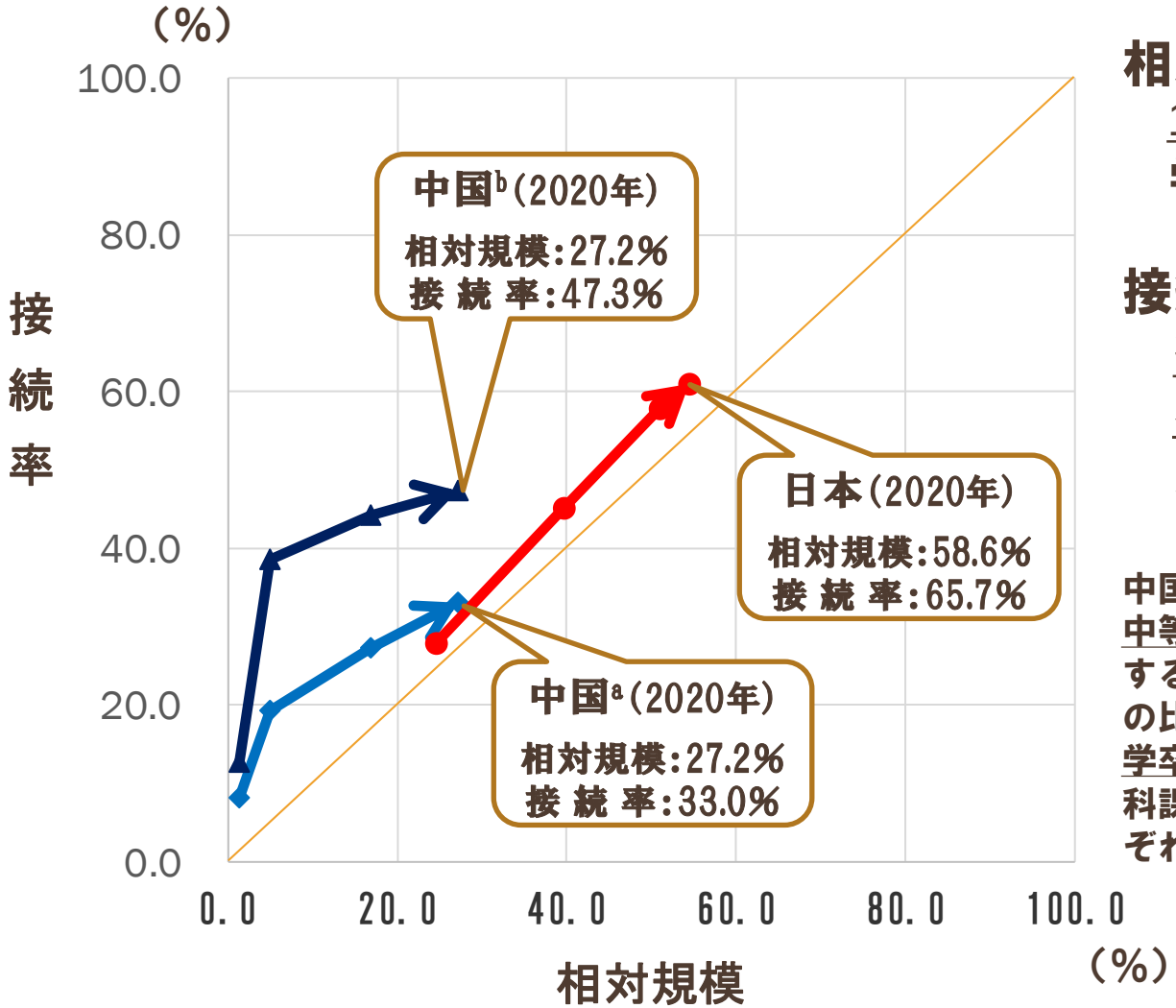
（千人）

年	後期中等教育卒業者数		大学入学者数（普通高等教育本科・専科課程）	
1990年	3,912	(2,498)	609	(317)
2000年	6,021	(3,015)	2,206	(1,160)
2010年	12,893	(7,944)	6,618	(3,513)
2020年	11,270	(7,865)	7,924	(3,722)

※後期中等教育卒業者数には、普通高級中学、職業高級中学、中等専門学校の卒業者数を含む。（　）内はそのうち普通高級中学卒業者数のみ。
※大学入学者数の（　）内は本科課程入学者数で内数。

1-3. 後期中等教育と高等教育の接続

（1990年、2000年、2010年、2020年）



相対規模：
18歳人口に対する大学入学者数の比率

接続率：
後期中等教育卒業者数に対する大学入学者数の比率

中国aは職業教育を含む後期中等教育全体の卒業者数に対する大学（本科課程）入学者の比率、中国bは普通高級中学卒業者数に対する大学（本科課程）入学者の比率をそれぞれ表している。

1-4. 教育接続に対する考え方

- 素質教育
  - 国民の資質の向上と、学生の創造的精神と実践的能力の育成に重点をおいて、徳・知・体・美等の面で**全面的に発達した人間を育成**
  - 家庭教育や社会教育でも実施し、学校教育においては就学前教育から高等教育、成人教育まで**すべての教育段階で実施**
  - 徳育、知育、体育、美育等を教育活動の中で有機的に統一し、学生の全面的な発達と健全な成長を促進

1-4. 教育接続に対する考え方

- 「国家中長期教育改革・発展計画要綱（2010-2020年）」（2010年）
  - 人材養成観の更新
    全面発達観を打ち立て、特・知・体・美で全面的に発達した、高い資質の人材の養成に努力
    体系的な養成観を打ち立て、**初等学校、中等学校、大学の有機的な接続**を推進

２．大学入学者選抜の改革

１．後期中等教育と高等教育の接続
２．大学入学者選抜の改革
３．後期中等教育の動向
４．大学教育の動向

2-1. 大学入学者選抜制度

- 大学入学者選抜の種類

①全国統一大学入学試験（高考）による選抜

募集定員は各省（日本の都道府県に相当）に配分

試験科目や試験問題は省を単位として設定

↓

試験・選抜方法の改革は省単位で実施

②推薦入学

限定された条件に合致した者を選抜

2-1. 大学入学者選抜制度

- 大学入学者選抜の種類

  ③自主学生募集（2003年）

  各大学での多様な評価に基づく合格者決定の充実、大学の運営自主権のいっそうの拡大

  大学ごとの選抜＋全国統一大学入学試験

→「強基計画」（2020年～）（後述）

2-2. 大学入学者選抜の改革

- 国務院「試験・学生募集制度改革の深化に関する実施意見」（2014年）
  - 2014年を改革の出発とし、2017年には全面的に推進して、2020年までに中国の特色を持った、現代的な教育試験・学生募集制度を整備
  - 類別の試験、総合的な評価、多元的な受け入れというモデルを形成
  - 各段階・各種の教育を接続させ、多様な学習成果を認める「立体交差」を構築

2-2. 大学入学者選抜の改革

- 国務院「試験・学生募集制度改革の深化に関する実施意見」（2014年）
  - ・試験の形式と内容に関する改革
    - ①高級中学学業水準試験の改善（後述）
      所定科目の学習の程度を検査
    - ②高級中学学生総合資質評価の整備（後述）
      思想品徳、学業水準、心身の健康、興味・特長、社会実践などに関する評価

2-2. 大学入学者選抜の改革

- 国務院「試験・学生募集制度改革の深化に関する実施意見」（2014年）
  - ・試験の形式と内容に関する改革

    <u>③高等職業教育機関における類別試験の推進</u>

    普通高級中学卒業生と中等職業学校の卒業生で異なる選抜方法を適用

    <u>④全国統一大学入学試験（高考）の内容面に関する改革</u>

    思考能力や問題分析・解決能力を重視

2-2. 大学入学者選抜の改革

- 国務院「試験・学生募集制度改革の深化に関する実施意見」（2014年）
  - ・大学入学試験改革の試験的実施の始動
    全国統一大学入学試験（3科目：語文（国語に相当）、数学、外国語）と高級中学学業水準試験（3科目）の成績に基づき、総合資質評価を参考とする多元的な選抜の仕組みを模索
    大学は、高級中学学業水準試験の対象科目と総合資質評価の利用方法を事前に公布

2-2. 大学入学者選抜の改革

- 国務院「試験・学生募集制度改革の深化に関する実施意見」（2014年）
  - ・大学入学試験改革の試験的実施の始動

    2014年　上海、浙江で開始

    （同年の高級中学1年生から適用）

    ↓

    2017年　北京、天津、山東、海南で開始

    2018年　遼寧、河北、福建、江蘇、重慶などで開始

2-3. 大学入学者選抜の改革

- 上海市の改革
  - 2018年の本科課程入学のための試験成績

    全国統一大学入学試験の成績

    語文、数学、外国語（各科目150点満点）

    ※外国語にはヒアリング、スピーキングを含む

    ※外国語は2度試験を実施

    普通高級中学学業水準試験の成績

    受験者が選択した3科目（各科目70点満点）

2-3. 大学入学者選抜の改革

- 上海市の改革
  - 普通高級中学の生徒の総合資質評価に関する情報を提供、この情報の利用方法は各大学が決定

    生徒の自己紹介、軍事訓練・社会実践等の状況、基礎科目の成績、発展型・研究型科目の学習経歴、研究型学習のテーマ・報告、ボランティアへの参加、体育芸術活動などを含む

2-3. 大学入学者選抜の改革

- 復旦大学における上海出身学生の募集
  - 全国統一大学入学試験の成績にもとづき、各募集単位における募集人数の1.5倍を対象に面接試験を実施

    ※面接では5名の専門家と1対1の面接（各15分）
    ※面接の際に総合資質評価の情報を参照

  - 総合点＝全国統一大学入学試験成績（660点を600点に換算）＋面接試験（300点）＋普通高級中学学業水準試験の成績（10科目、100点）

2-4. 大学入学者選抜の改革

- 「強基計画」（2020年～）
  ＝基礎分野学生募集改革プロジェクト

・総合的な資質が優れた学生を受け入れ、特別な枠で養成することにより、国の重要戦略に必要な人材を送り出す。　**選抜＋養成**

・募集・受け入れの過程で学生を全面的、総合的に評価することで、中等学校が生徒の成長過程をいっそう重視し、生徒の総合的な資質の育成をいっそう重視するように導く。

2-4. 大学入学者選抜の改革

- 「強基計画」（2020年～）
  - 2020年は36大学で試行
  - 学生募集を行う専門分野
    数学、物理学、化学、生物学、歴史学、哲学、古文字学
  - 募集定員は各省に配分（省ごとの募集・選抜）

2-4. 大学入学者選抜の改革

- 「強基計画」（2020年～）
  - 学生募集方法
    大学があらかじめ出願条件を提示
    受験者の①全国統一大学入学試験の成績、②個別大学が実施する総合考査の結果と③総合資質評価の状況を一定の比率（全国統一大学入学試験の成績は85%以上とする）で足し合わせて総合成績を算出し、合否を決定
    総合資質評価の利用方法は各大学で決定

2-4. 大学入学者選抜の改革

- 「強基計画」（2020年～）

・学生募集方法（例：北京師範大学、2021年）

総合考査

①筆記試験（総合能力試験）
②面接試験（総合資質評価）
③体育測定：長座体前屈、懸垂（男子）、腹筋運動（女子）、50メートル走　※成績には算入しない

全国統一大学入学試験の成績を85%、大学での考査の成績を15%（筆記試験の成績と面接試験の成績は50：50）で合算して合否を決定

2-4. 大学入学者選抜の改革

- 「強基計画」（2020年～）
  - ・学生養成モデル
    単独のクラス編成、一流教員の配置と一流の学習条件の提供、指導教員制、少人数クラス等の実施、科学研究プロジェクトへの参加
    学業成績が優秀な学生は、試験免除による推薦での大学院進学、公費留学、奨学金の提供などで優先的に割り当て

３．後期中等教育の動向

１．後期中等教育と高等教育の接続
２．大学入学者選抜の改革
３．後期中等教育の動向
４．大学教育の動向

3-1. 後期中等教育の動向

- 教育課程改革
  - ・国が設定する教育課程（科目）、地方、学校ごとに設定する科目、選択履修制の充実
    ＝設置課程の多様化
  - ・生徒の創造的能力や実践能力の育成を目的とした、「研究性活動」や社会実践活動の積極的な実施
  - ・総合的な資質の向上　←素質教育の推進

3-1. 後期中等教育の動向

- 教育課程改革
  - ・大学との連携による「講座」の実施
    大学教員が高級中学へ出向いて、専門分野や先端的な研究成果を紹介
  - ・大学による「先修」的な科目の提供やサマースクールの実施
    優秀な生徒が大学レベルの科目を受講
  - ・普通高級中学と大学や研究機関との連携による創造的人材の養成

3-2.後期中等教育の動向

- 普通高級中学学業水準試験（2014年～）
  - ・国の普通高級中学課程標準と教育試験の規定に基づき、各省の教育行政部門が実施
  - ・国が規定する学習要求の到達程度を測定
  - ・試験の実施は、①バランスの取れた学習、②学習状況の把握、③大学の適切な入学者選抜、④高級中学と大学での人材養成の効果的な接続、に有利

3-2.後期中等教育の動向

- 普通高級中学学業水準試験（2014年～）

・試験科目

語文、数学、外国語、思想政治、
歴史、地理、物理、化学、生物

→省レベルの教育行政部門が統一して実施

＋

芸術、体育・健康、技術、情報技術

→省レベルの教育行政部門が統一して基準を設定し、実施方法を決定

3-2.後期中等教育の動向

- 普通高級中学学業水準試験（2014年～）
  - 受験対象
    普通高級中学のすべての在校生
    同段階のその他の学校の生徒や社会人も参加可
  - 試験時期
    1年次に2科目程度、2年次に6科目程度、3年次に6科目程度を割り当て
    基本的には学期末に実施

3-2.後期中等教育の動向

- 普通高級中学学業水準試験（2014年～）
  - ・成績評価

    等級制、または「合格」「不合格」

    原則としてA（15%）、B（30%）、C（30%）、D及びE（25%）、Eは不合格　具体的な比率は各省で確定
  - ・成績の利用

    ①卒業（及び同等学力）認定の根拠、②大学への情報提供、③教育活動に関する分析と改善のためのフィードバック

3-3.後期中等教育の動向

- 総合資質評価（2014年～）
  - 生徒の全面的な発達についての観察、記録、分析であり、生徒の良好な個性の発現と育成の重要な手段であって、素質教育推進の重要な制度
  - 総合資質評価の全面実施は、①生徒の自己認識とキャリア設計の促進、②学校による生徒の成長の把握、③試験成績を唯一の基準とする評価からの転換、④大学入学者選抜への情報提供、に有利

3-3.後期中等教育の動向

- 総合資質評価（2014年～）
  - ・評価内容
    党の教育方針に依拠し、生徒の全面発達の状況と個性・特長を反映し、生徒の社会的責任感、創造的精神と実践能力の調査を重視
    ①思想品徳、②学業水準、
    ③心身の健康、④芸術的素養、
    ⑤社会実践（実践活動への参加回数、継続期間、作成した作品、調査報告など）

3-3.後期中等教育の動向

- 総合資質評価（2014年～）
  - ・評価手順

    ①材料の収集と事実の記録

    ②材料と記録の整理・選択

    ③公示（校内、ネットワーク）と審査認定

    ④評価書の作成

    5つの側面における傑出した成果、卒業時における生徒自身の陳述文と教師の評語、事実を証明する材料

3-3.後期中等教育の動向

- 総合資質評価（2014年～）
  - ・評価手順

    ⑤材料の利用

    校内での生徒指導

    大学入学者選抜時に大学に提供

    →大学は、自校の特色や人材養成の要求に基づき、評価の体系や方法を制定し、集団評議などの方法で客観的な評価を行い、選抜の参考とする

４．大学教育の動向

１．後期中等教育と高等教育の接続
２．大学入学者選抜の改革
３．後期中等教育の動向
４．大学教育の動向

4-1. 大学教育改革

- 「国家中長期教育改革・発展計画要綱（2010-2020年）」（2010年）
  - 人文科学教育と自然科学教育、理論の教育と実践、教育と研究の結合の促進
  - 単位制の推進、弾力的な学制の実施、文理融合の促進
  - 学生の科学研究への参加、実践的な教育の強化
  - 就業・起業教育、就業指導サービスの強化

←特定の職や分野に対応した知識や技能を「パッケージ」として提供

4-1. 大学教育改革

- 本科課程教育改革（2019年）
  - 共通科目、専門基礎科目、専門科目の比率の最適化
  - 単位制の整備、本科課程指導教員制度の導入、個別的な養成計画の制定
  - 副専攻、「双学位」人材養成プロジェクト
  - 実習の改善、学生が参加する実践活動の増加
  - 自主学習、読書量、身体鍛錬の増加

4-1. 大学教育改革

- 一般教育（「通識教育」）科目の開設

- 清華大学「文章・コミュニケーション科目」
（「写作与溝通課程」）
  - 1年次必修科目、総合的資質能力の向上が目的
  - 教員は自らの専門分野をもとにテーマを設定してクラス（15名／班）を担当。学生は2編のレポートを作成し、それをもとに教員から一対一で指導を受ける。

4-1. 大学教育改革

- 「強基計画」（再掲）
  - 総合的な資質が優れた学生を受け入れ、特別な枠で養成
  - 学生養成モデル

    単独のクラス編成、一流教員の配置と一流の学習条件の提供、指導教員制、少人数クラス等の実施、科学研究プロジェクトへの参加

    学業成績が優秀な学生は、試験免除による推薦での大学院進学、公費留学、奨学金の提供などで優先的に割り当て

おわりに

おわりに

- 素質教育の実施、全面的に発達した人材の養成　すべての教育段階を貫く原則
- 後期中等教育と高等教育の量的拡大
- 多様で個別的な学びを可能にする制度の整備

↓

- 大学入学者選抜の改革を梃子に、後期中等教育と大学教育の見直し・改善へ

おわりに

- 大学入学者選抜の改革を梃子に、後期中等教育と大学教育の見直し・改善へ

後期中等教育における学業水準試験による学習到達度の統一的な把握と、総合資質評価による多様な側面の評価

大学入学者選抜における多様な指標の活用

大学教育における共通教育科目・一般教育科目の重視、総合的資質能力の育成、単位制の整備による個別的養成や多様な学びの促進

［主要参考文献・資料］

大塚豊『中国大学入試研究ー変貌する国家の人材選抜』東信堂、2007年。

小野寺香「中国における高大接続プログラム」小川佳万編『東アジアの高大接続プログラム』（高等教育研究叢書115）広島大学高等教育研究開発センター、2012年、39-57頁。

南部広孝『東アジアの大学・大学院入学者選抜制度の比較ー中国・台湾・韓国・日本』東信堂、2016年。

文部科学省『文部科学統計要覧　令和3年版』双葉レイアウト、2021年。

北京師範大学「2021年強基計劃招生簡章」（2021年）。

別敦栄・斉恬雨「論我国一流大学通識教育改革」『江蘇高教』2018年第1期、4-12頁。

復旦大学「2018年上海市綜合評估録取改革試点招生簡章」（2018年）。

［主要参考文献・資料］

「国家中長期教育改革和発展規劃綱要（2010-2020年）」《教育規劃綱要》工作小組辦公室編『教育規劃綱要学習輔導百問』教育科学出版社、2010年。

国務院「関於深化考試招生制度改革的実施意見」（2014年）。

教育部「関於普通高中学業水平考試的実施意見」（2014年）。

教育部「関於加強和改進普通高中学生綜合素質評估的意見」（2014年）。

教育部「関於深化本科教育教学改革全面提高人材培養質量的意見」（2019年）。

教育部「関於在部分高校開展基礎学科招生改革試点工作的意見」（2020年）。

教育部「教育統計数拠」（http://www.moe.gov.cn/jyb_sjzl/moe_560/2020/。なおURLは2020年統計のページのもの）。

［主要参考文献・資料］

上海市教育委員会「関於印発《上海市普通高中学生綜合素質評估実施辦法（試行）》的通知」（2015年）。

上海市教育委員会「関於印発《上海市普通高中学業水平考試実施辦法（試行）》的通知」（2015年）。

中華人民共和国国家教育委員会計劃建設司編『中国教育統計年鑑　1990』人民教育出版社、1991年。

「新高考給高中、大学帯来哪些挑戦？」『中国教育報』2016年4月26日。

「鐘秉林、史静寰：新高考改革路向何方？ 人材培養如何做到精準銜接？」（2021年6月11日、https://www.sohu.com/a/469982439_484992）